

第1学年社会科学学習指導案

時間・場所 公開授業③ 1年2組教室

学 級 1年2組 32名（男子14名，女子18名）

指 導 者 千葉 拳太

1 単元名 北アメリカ州—盛んな農業や工業の特色—

（東京書籍 新編新しい社会地理 第3章世界の諸地域 P86～87）

2 単元について

生徒は、小学校第6学年で「世界の中の日本」という単元を学習し、そのなかの「日本とつながりの深い国々」としてアメリカ合衆国を学習している。主に、日本とアメリカの貿易での結びつき、文化やスポーツでの結びつきに焦点をあてて学習している。

中学校社会科では、世界の諸地域について、世界の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させるとある。

それを受けて本単元の北アメリカ州では、産業に焦点を当てて授業を構成することで、小学校での既習内容とのつながりを深めながら、北アメリカ州の地域的特色の理解を深めることができると考えた。主に農業と工業、生活と文化を取り扱うことで、北アメリカ州に暮らす人々の生活の様子を生徒に捉えさせていきたい。

3 単元目標及び評価規準

(1) 単元目標

- ・北アメリカ州の地域的特色を理解するために、アメリカ合衆国を中心とした「産業の発達」に関する学習テーマを設定し、意欲的に追究させる。
- ・北アメリカ州の学習テーマを追究していく過程において、その地域的特色と課題を多面的・多角的に考察し、その成果をさまざまな手法で表現させる。
- ・北アメリカ州に関する資料の分析、読み取りや比較、関連付けなどの地理的技能を育む。
- ・北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につけさせる。

(2) 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用 の技能	社会的事象についての 知識・理解
北アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、特にアメリカ合衆国の産業に関心を持ち、設定された学習テーマを意欲的に追究している。	北アメリカ州、特にアメリカ合衆国の産業が発達している理由について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	収集した資料から、北アメリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり図表などにまとめたりしている。	北アメリカ州について、大陸と島々からなる自然環境、新しい文化、産業と経済の地域差などの特色を理解し、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につけている。

4 単元計画（総時数6時間）

小単元名	時間	主な学習内容
1 北アメリカ州をながめて	2	北アメリカ州での自然環境の特色 主題(テーマ)の設定
2 広大な国土と工業化した農業	1	北アメリカ州での農業の特色 【本時】
3 工業の発展と工業地域	1	北アメリカ州での工業の特色
4 産業を支える新しい文化と人々	1	北アメリカ州での文化や人々の特色
5 北アメリカ州の学習を振り返ろう	1	北アメリカ州の単元についてのまとめ

5 本時の指導 (3/6)

(1) 目標

アメリカが農産物や畜産物を大量に生産している理由を、複数の資料を関連付けて考察することを通して理解させる。

(2) 「振り返り」の工夫

- ・資料や生徒の発言から学習課題を引き出し、課題解決への予想・見通しを持たせる。
- ・個人での資料の読み取りの時間、読み取った事実をグループで交流・まとめる時間を十分に確保することで、言語活動の充実を図り、振り返りを価値あるものにする。

(3) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点と評価 (<input type="checkbox"/>)
導入 5分	1 私たちの生活にアメリカ産のものがあることをつかむ。 資料Ⅰ スーパーのアメリカ産牛肉 2 課題を把握する。 資料Ⅱ 主な農産物・畜産物の生産量と国別割合 資料Ⅲ アメリカと日本の農業の比較	1 資料や身近な例から特色をつかませる。 2 資料の読み取りを通じて課題を把握させる。
なぜアメリカでは、少ない労働力で多くの生産をすることができるのだろうか。		
展開 35分	3 課題に対する予想を行う。 ・広大な土地 ・(大型)機械 ・気候 など 4 課題解決への見通しを持つ。 5 資料の読み取りを行う。 ① 個人での読み取り ② 4人グループで交流・まとめ 資料Ⅰ 日本とアメリカの農業経営の比較 資料Ⅱ 牛の肥育の工夫 資料Ⅲ かんがい農業の工夫 資料Ⅳ アメリカとカナダの農業地域と北アメリカの降水量の関係 6 グループのまとめを全体発表し、課題についてまとめる。	3 個人の予想→ペア→全体へと共有を図りたい。 4 予想からどのような資料を読み取ればいいのか、本時の流れを確認する。 5 課題解決の根拠となりうる資料を選択させ、そこから読み取れる事実をまとめさせたい。 アメリカの農業の特色を、資料を適切に選択し読み取っている。【観察】 アメリカで多くの農産物や畜産物を生産することができる理由について、大規模な農業・適地適作の特色からまとめている。【発言・観察】 6 アメリカで多くの農産物が生産されている理由を、発表をもとにまとめさせる。
終末 10分	7 本時の振り返りを行う。 ① 指示1分 ② 記入3分 ③ 交流1分	7 視点を示して、振り返りカードに記入させる。
アメリカでは、広大な土地を利用して大型機械を用いたり、環境に適した作物を作る適地適作を行ったりすることで効率よく農産物を生産するため、少ない労働力で大量に生産することができていることがわかった。(第Ⅰ型)		8 振り返りカードを回収する。

